

2018年のできごと

1月9日 企画展「第21回全国児童生徒地 図優秀作品展」を開催

地図と測量の科学館ほか2会場において、企画展「第21回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催した。本企画展は、全国各地で開催されている児童生徒の地図に関する作品展から選ばれた優秀作品を展示するもので、105作品を展示した。また、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞の表彰式が1月9日に国土交通省で行われた。

1月23日 草津白根山の噴火に伴う地形変化を解析

平成30年1月23日に草津白根山で発生した噴火について、地球観測衛星「だいち2号」(ALOS-2)に搭載された合成開口レーダー(PALSAR-2)のデータで得られたSAR強度画像により、火口位置を推定した。

1月31日 「平成29年全国都道府県市区町 村別面積調」を公表

平成29年10月1日現在の日本国土の面積をとりまとめた「平成29年全国都道府県市区町村別面積調」を公表した。平成29年の国土面積は、平成28年の377,971.57km²から377,973.89km²になった。

2月5日 九州北部豪雨等災害対策関係功 ~2月7日 労者に感謝状を贈呈

平成29年の九州北部豪雨及び7月22日からの梅雨前線による大雨の災害対策活動において、被害状況把握のための空中写真撮影に尽力いただいた5団体に、災害対策関係功労者として国土地理院感謝状を贈呈した。

2月7日 第15回北海道測量技術講演会を 開催

北海道地方測量部は、(公社)日本測量協会と共に札幌第1合同庁舎(北海道札幌市)において、測量の日記念行事として、第15回北海道測量技術講演会を開催した。

本講演会では、「G空間社会の実現に向けた国及び道内における先端的取組」をテーマとして、地理空間情報の新たな活用やそれを支援するための最新の取組を紹介した。

2月23日 第218回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第218回地震予知連

絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「熊本地震で見てきた課題」に関する報告・議論などが行われた。

2月28日 東北地方日本海側の水準点787 点の成果(高さ)を改定

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後も余効変動が継続していることから、昨年実施した東北地方太平洋側の水準点成果改定に引き続き、2018年は東北地方日本海側の水準点の再測量を実施し、水準点787点の改定成果を公表した。

3月6日 霧島山(新燃岳)の噴火に伴う地 ~3月9日 形変化を解析

平成30年3月6日に霧島山の新燃岳で発生した噴火について、地球観測衛星「だいち2号」(ALOS-2)に搭載された合成開口レーダー(PALSAR-2)のデータで得られたSAR強度画像により、溶岩の範囲の推移を明らかにした。

3月7日 ビッグデータで登山道を修正し た地形図を公開

民間事業者から提供された、登山者の移動経路情報などを活用して登山道を修正した地形図を、地理院地図ではじめて公開した。地形図の登山道がより正確になることで、登山者の安全や利便性の向上が図れる。

3月8日 「地理院地図」で、地形断面図や 標高図を自分で作れるようになった

国土地理院のウェブ地図「地理院地図」で、地形断面図や標高図を自分で作れるようになった。

自分が住む地域など、知りたい土地の高低差をいつでもどこでも簡単に調べることができる。

3月13日 第21回測量行政懇談会を開催

関東地方測量部において、第21回測量行政懇談会(委員長:清水英範東京大学大学院教授)を開催した。本懇談会では、「測位基盤検討部会」において検討してきた、衛星測位の利活用が拡大する中での位置の基準(測地基準座標系)のあり方についての最終報告、及び「地図の利用手続のあり方検討部会」と「地理教育支援検討部会」からの経過報告

を基に議論が行われ、本懇談会で了承された「測位基盤検討部会」からの最終報告に基づく「測量行政懇談会報告書」について、委員長から国土地理院長に手渡された。

3月16日 企画展「「地図で旅する日本のジオパーク」～大地の神秘を地図で巡ろう！」を開催
～7月16日

地図と測量の科学館において、企画展「「地図で旅する日本のジオパーク」～大地の神秘を地図で巡ろう！」を開催した。本企画展では、日本各地のジオパークを地図や空中写真とともに紹介した。

3月19日 平成29年度国土地理院コンプライアンス・アドバイザー委員会を開催

国土地理院本院において、平成29年度国土地理院コンプライアンス・アドバイザー委員会を開催した。本委員会では、平成29年度国土地理院コンプライアンス報告書（案）及び平成30年度国土地理院コンプライアンス推進計画（案）について、報告及び審議が行われた。

3月22日 「多様な主体が管理する道活用」連絡会（第4回）を開催

災害時の国民の安全・安心の確保を図るため、山間地等において、民間を含め多様な主体が管理する道を把握・共有し、避難路や代替輸送路として活用する取組が求められている。

このため、道路、農道、林道や民間の道の関係機関等で構成する「多様な主体が管理する道活用」連絡会（座長 米田 雅子 慶應義塾大学 先端研究センター特任教授）を設置し検討を進めた。

3月22日 国会前庭にある「日本水準原点」の隣に、電子基準点「東京千代田」を設置

国会前庭にある「日本水準原点」の隣に、電子基準点「東京千代田」を設置した。3月26日から、準天頂衛星システム（みちびき）やGPSなどの観測が始まり、都心での測量が効率化するとともに、全国の標高の基準である日本水準原点の変動をモニターできるようになり、大きな地殻変動が生じた場合でも円滑な測量が可能になった。

3月27日 細島駿潮場が「登録有形文化財（建造物）」として登録

平成26年に土木学会選奨土木遺産に選定された細島駿潮場（宮崎県日向市）が、国の「登録有形文化財（建造物）」として文化庁に推薦され、平成30

年3月27日付で登録された。

4月13日 平成30年4月9日の島根県西部の地震に伴う地殻変動を観測

4月9日01時32分に島根県西部で発生した地震（M6.1、最大震度5強）に伴う地殻変動を電子基準点で観測した。

4月19日 霧島山（硫黄山）の噴火に伴う地殻変動を解析
～4月26日

平成30年4月19日から4月26日までに霧島山の硫黄山で発生した噴火について、地球観測衛星「だいち2号」（ALOS-2）に搭載された合成開口レーダー（PALSAR-2）のデータを使用したSAR干渉解析により、火山活動に伴う地殻変動を明らかにした。

5月17日 「測量の日」記念講演会を開催

「測量の日」四国地区推進協議会は、国際ホテル松山（愛媛県松山市）において、「測量の日」記念講演会を開催した。

5月23日 日本水準原点を一般公開

関東地方測量部は、（公社）日本測量協会と共に、我が国の土地の高さの基準となっている日本水準原点を一般公開した。あわせてパネルの展示やミニ講座を開催して、原点や水準測量等の紹介を行った。

5月25日 第219回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第219回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「地震と水」に関する報告・議論などが行われた。

6月2日 第30回「測量の日」記念-地図と測量のミニフェスタ-を開催

東北地方測量部は、スリーエム仙台市科学館（宮城県仙台市）において、「第30回「測量の日」記念-地図と測量のミニフェスタ-」を開催し、測量・地図に関するパネル展示や測量体験等を行った。

6月3日 「測量の日」特別企画 ～遊んで学ぶ地図と測量の世界2018～

地図と測量の科学館において、「測量の日」特別企画を開催し、国土地理院が提供している様々な地理空間情報をわかりやすく紹介するとともに、

子どもから大人まで楽しみながら地図と測量に関する体験ができる企画を行った。今年は、「測量の日」制定 30 年目に当たることにちなんだ展示や体験学習を行った。また、教科書にも出てくる偉人「伊能忠敬」の没後 200 年記念ミニ展示を行うとともに、伊能忠敬の行った測量やドローンによる最新の測量について講師をお招きして講演を行った。さらに、「重力って何?」と題して、今回が初公開の重力観測施設（重力棟）を公開した。

6月3日 平成30年度「測量の日」における功労者感謝状の贈呈

測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった1個人・2団体に、感謝状を贈呈した。

6月4日 「測量の日」パネル展を開催 ～6月6日

沖縄支所は、「測量の日」沖縄県実行委員会と共に沖縄県庁県民ホール（沖縄県那覇市）において、「測量の日」パネル展を開催した。

6月6日 第47回国土地理院報告会を開催

日経ホール（東京都千代田区）において第47回国土地理院報告会を開催した。国土地理院からの報告のほか、東京大学大学院総合文化研究科教授の石原あえか氏から特別講演をいただいた。本報告会には515名の参加があった。

6月6日 平成30年度【測量の日】記念事業 第26回山形県高等学校サーベイコンテストを実施

東北地方測量部は、山形県高等学校サーベイコンテスト実行委員会として、県総合運動公園において、県内で測量技術を学ぶ高校生に対し、測量技術の習得、向上を目的に平板測量、水準測量、TS測量の3部門の測量競技を実施した。

6月6日 「くらしと測量・地図」展を開催 ～6月8日

関東地方測量部は、「測量の日」東京地区実行委員会の事務局として、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、「くらしと測量・地図」展を開催した。「明治150年からみえる、測量と地図のあゆみ」をテーマに、明治期から今日における測量器機、測量施設、地図等を紹介した。

6月6日 「測量の日」記念講演会を開催

「測量の日」中部地区連絡協議会は、静岡県男女

共同参画センター「あざれあ」（静岡市駿河区馬淵）において、「測量の日」記念講演会を開催した。

6月7日 「測量の日」記念フェア2018を開催

近畿地方測量部は、(一社)大阪府測量設計業協会及び大阪土地家屋調査士会と共に、大阪合同庁舎第4号館（大阪府大阪市）において、「測量の日」記念フェア2018を開催した。本記念フェアでは、第22回近畿地方測量技術発表会及びパネル展、測量機器・システム展が行われた。

6月8日 国土交通省ハザードマップポータルサイトの改良

住民の方々の避難を迅速化し「逃げ遅れゼロ」を目指す取組の一つとして、ハザードマップポータルサイトについて、全国109水系の国管理河川における洪水浸水想定区域（想定最大規模）を簡単に確認できるよう改良を行った。

6月9日 地図パネル展を開催 ～6月10日

北陸地方測量部は、「道の駅 あらい（くびき野情報館）」において妙高市の移り変わりを知ることができる地図パネル展を開催し、過去と現在の地図や空中写真、防災に役立つ活断層図のほか、余色立体地図等の展示をした。道の駅では初めての開催となった。

6月25日 若手測量技術者の登竜門を創設

測量業界における若手入職者の減少と経験豊富な世代が引退する局面という課題に対応し、中長期的な技術者の育成・確保に資するため、未来を担う若手技術者が測量業務の責任者として主任技術者及び作業班長を担当する、新たな試行業務を開始した。

6月26日 第23回中国地区測量技術講演会を開催

中国地方測量部は、「測量の日」中国地区連絡協議会と共に広島県民文化センター（広島市中区大手町）において、第23回中国地区測量技術講演会を開催した。

6月27日 「測量の日」記念講演会を開催

「測量の日」四国地区推進協議会は、サン・イレブン高松（香川県高松市）において、「測量の日」記念講演会を開催した。

6月28日 日本アルプスなどの登山道を修

正

日本アルプス及び屋久島地域について、登山者の移動経路情報などのビッグデータを活用して地形図の登山道を修正し、本日から地理院地図で公開した。

6月28日 「測量の日」記念講演会を開催

九州地方測量部は、(一社)福岡県測量設計コンサルタンツ協会と共に、福岡県中小企業振興センター(福岡県福岡市)において、「測量の日」記念講演会を開催した。

7月11日 平成30年6月18日の大阪府北部の地震に伴う地殻変動を観測

6月18日7時58分に大阪府北部で発生した地震(M6.1,最大震度6弱)に伴うごくわずかな地殻変動を電子基準点で観測した。

7月12日 糸魚川-静岡構造線断層帯,濃尾断層帯,山田断層帯,布田川-日奈久断層帯の情報を整備

平成7年1月の阪神・淡路大震災を契機に、政府の地震調査研究推進施策の一環として、全国の主要な活断層帯を対象に、活断層の詳細な位置や関連する地形の分布等の情報を整備し、「1:25,000活断層図」として公開した。

7月17日 優良業務並びに優良技術者表彰式を実施

平成29年度に完了した国土地理院発注の測量業務実施者のうち、特に優れた成績を収めた優良業務並びに優良技術者に対し、測量事業関係功労者(3名)、優良業務5件、優良技術者3名の院長表彰を行った。

7月18日 「地理院地図パートナーネットワーク会議」を開催

地理院タイルをはじめとする地理空間情報の活用推進のため、国土地理院、受託開発者、ツール提供者が参加する地理院地図パートナーネットワーク会議を開催し、情報共有や意見交換を実施した。

7月20日 平成30年度国土地理院入札監視委員会総会及び第1回定例会議を開催

関東地方測量部において、平成29年度国土地理院入札監視委員会総会及び第1回定例会議を開催した。総会では、委員会の運営に関する説明及び委員長・委員長代理の選出等が行われ、委員長に大久保修平委員、委員長代理に川合竜太委員が選出さ

れた。定例会議では、国土地理院が発注した平成29年10月1日から平成30年3月31日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会抽出した事案についての審議が行われた。

7月25日 企画展「山を知る」を開催 ～11月4日

地図と測量の科学館において、企画展「山を知る」を開催した。測量や地図の視点から「地図」に描かれた特徴的な山の地形や山で役立つ山の断面図を作る地理院地図の機能、ビッグデータを活用した登山道の修正事例などを紹介した。

7月30日 UAVレーザ測量に関する技術開発を行う企業等を募集 ～8月22日

7月30日から、オープンイノベーション(さまざまな技術・アイデア・ノウハウ等を持ち寄りスピーディーに実装化を図る開発手法)により、樹木等があっても地表面の測量がある程度可能なUAVレーザ測量について、比較的短時間のうちに±5cm以内の精度で測量可能なUAVレーザ測量機器や、データのフィルタリング処理を自動化するソフトウェアなどの技術開発に参加する企業等を募集をした。

8月24日 第220回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第220回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「千島海溝・北海道東方沖と三陸北部における巨大地震」に関する報告・議論などが行われた。

9月6日 平成30年北海道胆振(いぶり)東部地震に伴う地殻変動を観測

9月6日03時08分に北海道胆振地方中東部で発生した地震(M6.7,最大震度7)に伴う地殻変動を電子基準点で観測した。

9月28日 油壺験潮場旧建屋が「平成30年度土木学会選奨土木遺産」に認定

我が国の初期の測量技術を今に伝え、日本の標高の基準である「日本水準原点」の管理に重要な役割を果たしてきた貴重な施設であることを理由として、油壺験潮場旧建屋(神奈川県三浦市三崎町大字小網代)が「平成30年度土木学会選奨土木遺産」に選定された。

10月1日 地図・空中写真等の価格を改定

国土地理院では、地図の利用環境の変化に合わせて、紙地図のほか数値地図（CD、DVD、オンライン）、電子複写図、空中写真など、利用者のニーズに合わせた刊行を行ってきたが、今般、地図等の作成経費が上昇したため、紙地図と空中写真の定価を改定した。

10月3日 関西 G 空間フォーラム 2018 を開催

近畿地方測量部は、地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会の活動の一環として、大阪工業大学梅田キャンパスで関西 G 区間フォーラム 2018 を共催した

10月3日 洪水や土砂災害から命を守るア ～11月30日 プリを募集

国土地理院は 10月3日から 11月30日にかけて、水管理・国土保全局と協力し、洪水や土砂災害に関するオープンデータの活用を推進するため、スマートフォン等で活用いただける防災に役立つアプリケーションの公募を行った。

10月11日 UAV レーザ測量に関する技術開 発チームを結成

国土地理院は、オープンイノベーション（さまざまな技術・アイデア・ノウハウ等を持ち寄りスピーディーに実装化を図る開発手法）により「UAV レーザ測量の精度向上、作業効率化に資する技術開発」に参加する企業等を募集し、4つの開発チームが結成された。

10月15日 平成 30 年度補正予算の政府案が 決定

平成 30 年度補正予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院関係の補正予算案額は、総額 62 百万円となった。

10月24日 UJNR 地震調査専門部会第 12 ～10月26日 回日米合同部会を開催

天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）地震調査専門部会の 12 回目の会合が、熊本県熊本市で開催された。

本会議は、地震災害軽減技術の確立に資することを目的として、日米両国政府の地震に関する調査研究機関の研究者等約 60 人が一堂に会し、最新の研究成果を報告・議論するもので、2 年ごとに日米交互に開催されています。日本では平成 26

年 10 月に宮城県仙台市で開催された第 10 回会議以来 4 年ぶりとなった。

会議では、日米の地震調査研究の取り組み、平成 28 年（2016 年）熊本地震や平成 30 年（2018 年）北海道胆振東部地震に関する調査結果、海溝型地震の科学的解明など、多数の研究成果の報告と議論が行われ、今後の地震調査研究に向けた決議が採択された。

10月27日 石岡測地観測局 一般公開 2018 を開催

第 17 回茨城県畜産センター公開デーに合わせ石岡測地観測局の一般公開を実施した。地元の石岡市やつくば市を中心に茨城県内外から 600 名を超える方の来場があった。VLBI 施設説明、アンテナ見学、駆動実演及びペーパークラフト工作を実施し、昨年に引き続き、アンテナパラボラ面に触ることができるアンテナ見学が好評だった。そのほか、絶対重力計の展示と重力観測の役割の説明、電子基準点の説明、つくば市の協力による筑波山ジオパークに関する展示・説明を実施した。

11月 胆振東部地震を水準測量を実施 ～12月

平成 30 年北海道胆振東部地震による変動を把握するため水準測量を実施した。

11月1日 平成 30 年度国土技術研究会に参 ～1月2日 加

国土交通省本省において、平成 30 年度国土交通省国土技術研究会が開催された。国土地理院から自由課題（イノベーション部門）1 課題、自由課題（一般部門：安全・安心部門）1 課題、ポスターセッション 2 課題の発表を行った。

11月13日 企画展「近代測量の幕開け」を開 ～12月24日 催

地図と測量の科学館において、企画展「近代測量の幕開け」を開催した。江戸から明治になり近代国家の礎となる測量や地図の世界を伊能忠敬の時代から明治期の測量機器や地図を中心に展示し、近代測量の幕開けとして紹介した。

11月15日 G 空間 EXPO2018 が開催 ～11月17日

日本科学未来館（東京都江東区）において、G 空間 EXPO2018 が開催された。本 EXPO は、地理空間情報の最先端技術やサービスを集結し、未来をつくる日本の技術やサービスを紹介するととも

に、新たな技術やサービスの創出、民間事業者等の提案や創意工夫を掘り起こす場として産学官の連携により開催され、3日間で10,623人の入場者があった。国土地理院は、施策に関する展示、Geo アクティビティコンテスト及び地理院地図パートナーネットワーク会議等を実施した。

また、SPAC シンポジウム 2018 において、川崎院長が基調講演を行った。

11月15日 「地理院地図パートナーネットワーク会議」を開催

地理院タイトルをはじめとする地理空間情報の活用推進のため、国土地理院、受託開発者、ツール提供者が参加する地理院地図パートナーネットワーク会議を開催し、情報共有や意見交換を実施した。

11月27日 「第19回いばらき児童生徒地図～12月9日 作品展」を開催

関東地方測量部は、いばらき児童生徒地図研究会の事務局として、身のまわりの環境や地域、地図に対する関心を深めてもらうことを目的に、茨城県内の小・中学生を対象として「第19回いばらき児童生徒地図作品展」を開催し、応募作品278点のうち優秀な作品46点を展示した。

11月30日 第221回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第221回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「予測実験の試行05」に関する報告・議論などが行われた。

12月5日 石岡測地観測局の電子基準点「石岡」が国際GNSS事業(IGS)のネットワーク局として登録

複数の宇宙測地技術を有する石岡測地観測局内の電子基準点「石岡」が、IGSのネットワーク局として登録され(SiteID: ISHI00JPN)、IGSへのデータ提供を開始した。今後、GNSS衛星の精密軌道決定や地球基準座標系(ITRF)の維持にも貢献する。

12月12日 第22回測量行政懇談会を開催

関東地方測量部において、第22回測量行政懇談会(委員長:清水英範東京大学大学院教授)を開催した。本懇談会では、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震への国土地理院の災害対応についての報告と、「地図の利用手続のあり方検討部会」において検討してきた、地理空間情報の更なる活用

推進のための国土地理院の地図の利用手続の最終報告、及び「地理教育支援検討部会」からの経過報告を基に議論が行われ、本懇談会で了承された「地図の利用手続のあり方検討部会」からの最終報告に基づく「測量行政懇談会報告書」について、委員長から国土地理院長に手渡された。

12月14日 第53回海岸昇降検知センター総会を開催

関東地方測量部において、第53回海岸昇降検知センター総会を開催した。本総会では、気象庁、海上保安庁海洋情報部、国土交通省港湾局、国土地理院及び海岸昇降検知センター事務局から、平成29年度事業報告及び平成30年度実施計画の報告等が行われた。

12月18日 土地の成り立ちから、身の回りの自然災害リスクを確認

国土交通省では、身のまわりの土地の成り立ちを簡単に確認できるよう、土地分類基本調査の5万分1地形分類図を、国土交通省ハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」で確認できるようにした。

また、簡易的な水害リスクの情報を提供できるよう、都道府県が管理する中小河川における航空レーザ測量による三次元地形データや地形分類図等を活用した簡易的な水害リスク情報の作成及び公表にあたっての留意事項等を整理した手引きを公開した。

12月19日 平成30年度国土地理院入札監視委員会第2回定例会議を開催

関東地方測量部において、平成30年度国土地理院入札監視委員会第2回定例会議を開催した。定例会議では、国土地理院が発注した平成30年4月1日から平成30年9月30日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会が抽出した事案についての審議が行われた。

12月21日 平成30年度第二次補正予算の政府案が決定

平成30年度第二次補正予算の政府案が閣議で決定され、重要インフラの緊急対策にかかる第二次補正予算案額は、総額4.5億円となった。

12月21日 平成31年度予算の政府案が決定

平成31年度予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院関係の予算案額は、総額106.2億円となった。このうち、重要インフラの緊急対策にかかる予

算案額（臨時・特別の措置）は、総額 9.5 億円となった。

12 月 25 日 2018 年 12 月 22 日インドネシア・クラカタウ火山の噴火に伴う地形変化を把握

2018 年 12 月 22 日（UTC）にインドネシアのクラカタウ火山の噴火が原因とみられる津波が発生した。噴火に伴う地形変化を把握するため、日本の地球観測衛星「だいち 2 号」（ALOS-2）に搭載された合成開口レーダー（PALSAR-2）のデータを使用して画像の分析を行った。